

授業参観及び「子どもの未来を語る会」へのご出席ありがとうございました(9/29)

先日は、授業参観及び「子どもの未来を語る会」に多数ご出席いただき、誠にありがとうございました。

各学年の授業の主な内容は、1年生は体育「転がしドッジ」、2年生は算数「おもしろ問題」、3年生は国語「漢字のへんとつくり」、4年生は社会「都道府県」、5年生は道徳「ネットやスマホの使い方」、6年生も道徳「SNSなどの使い方」の学習でした。

子どもたちの学習の様子をご覧いただき、いかがでしたか。子どもたちの成長を感じていただけではないかと思っています。また、担任が子どもたちとどんな授業をしようとしているのかも見てもらうことができたのではないかと思います。

参観いただいた感想を子どもたちに伝えていただくと、子どもたちの励みになるとおもいますので、よろしくお祈りします。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

PTA研修部主催「子どもの未来を語る会」を開催しました。



NPO法人ほがらか絵本畑の理事長の三浦伸也さん(絵本のしんちゃん)を講師にお招きし、「子どもから学ぶ しあわせの見つけ方」をテーマにお話しいただきました。

三浦さんは、福祉事業や児童発達支援、そして講演など幅広く活躍されている「ほがらかグループ」の代表をされており、「絵本ライブ」として、日本だけでなく、ニュージーランドでも、絵本の読み聞かせを通じて子どもたちとの交流を続けられておられる方です。

伊賀には20年程前から何回も来られており、市内の全ての保育所や幼稚園、また小学校に

出向いて、子どもたちに絵本を読んだり、保護者の方と子育てについて考えたりする機会をもたれてきているので、保護者の方の中には、以前にもお話を聞いたことがあるという方が多数おられました。

講演では、「絵本を読むと家の空気が変わるよ」と知り合いに勧められたことが絵本との出会いであったという話から始まり、子どもから学んだ「しあわせの見つけ方」について、絵本の読み聞かせも交えながら、お話ししていただきました。

そこで話されたのは、「自分が変われば、子どもも変わる」ということでした。そのために大切にすることとして、次の4つのことをあげられました。

- ①答えは一つじゃない
- ②そこに喜びはあるのか
- ③自分にウソをつかない
- ④「今」だけを考える

「①答えは一つじゃない」では、「りんご+オレンジ=」の絵を描かれ、これまで出合った子どもたちから出された想像力豊かな「答え」をいくつも紹介していただきました。一つ一つの答え、正解だけを求めてしまってきた自分が、子どもたちの想像力をしぼませ、子どもたちにとって「安心」できない、居心地の悪い空間を作ってしまったなあと、子どもたちに申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。また、最後に、『まって』という絵本を、参加者みんなで読みましたが、子どもの切なる「まって」に立ち止まることなく、日々過ごしてしまっている自分がいることにも気づきました。

第2回学校運営協議会から

学校運営協議会は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の5)に基づいた仕組みです。本校にも、地域の方と保護者、教職員の代表で構成した協議会があり、年に数回、学校運営について示唆をいただいています。

今回は、先日の参観日に、授業を参観していただいた後、「子どもの未来を語る会」にもご出席いただき、その後、本年度2回目の学校運営協議会を開催しました。

委員の方からは、落ち着いた雰囲気子どもたちが学習できているという意見をいただきました。また、トイレのスリッパを揃えていた子どもがいたとお褒めの言葉もいただきました。タブレットを用いた学習については、「今、求められていることはわかるが、タブレットを用いることで何を学ばせたかたのかが見えなかった。」というご意見をいただきました。また、「タブレットが目の前になると、どうしても気になってしまい、先生の指示をしっかりと聞いていない子どもがいるのが気になった。」というご意見もいただきました。授業のどこでタブレットを活用するのかについては、今後、検討していくことが必要であると思われました。また、家庭学習については、「保護者の方の協力を得ながら定着をはかっていくことは必要であるが、保護者が教えることまではできないので、学校として責任を持って、学力の定着をはかる指導を行うことが必要である。」というご意見もいただきました。

いただいたご意見については、検討し、今後の取組に活かしていきたいと考えています。



PTAの方が準備してくれました。